



ワシントン日本語学校(補習授業校)だより



はなみずき

mail: wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>



ワシントン日本語学校事務局
HOT LINE (301)962-7415
Phone (301)962-7410
FAX (301)962-7411

ご入学おめでとうございます！
幼稚部年中組がスタート
しました。

校長 三原 洋一

先週9月7日に、「新設・幼稚部年中組」の入学式を挙行了しました。年度の途中となりましたが、新しく4歳児を学校に迎えることができました。ご入学おめでとうございます。

ひまわり組

12名、すみれ組12名の合計24名でのスタートとなりました。全校生徒一同、教職員・保護者一同が心から歓迎します。

今回、以前から要望のあった幼稚部年中組の開設につきましては、本年度の管理運営委員長の栗原様はじめ教育人事部長の大島様を中心にご準備いただき、数カ月間の準備期間をかけて、多くの方のご協力を得ながら、開設へと漕ぎつけることができました。特に、教育人事部の皆様には大いなるご尽力をいただいたことに、心から感謝するとともに、敬意を表したいと思います。



入学式では、初めは少し緊張した表情を見せる子どもたちでしたが、どの子も保護者と一緒に立派に式に臨むことができました。校長や栗原管理運営委員長の話をしっかりと聞くことができ、落ち着いた態度が印象的でした。

式中には、在校生の代表として、小学部6年生の岩城みらさんがお祝いの言葉を述べました。さすがは6年生、堂々とお祝いの言葉を述べることができ、新入児の皆さんに、全校生徒の歓迎の気持ちが伝わったことと思います。



YAMATO
TRANSPORT
U.S.A.

INTERNATIONAL
MOVING SERVICE



お荷物の多い方!時間のない方!
面倒なお引越は全てまかせて
ら〜くら〜!



安心

引越
らくらく 海外パック

箱に入らない家具や
自転車なども送りたい、だけど安く
済ませたい!そんな方へ



丁度
いい

ベーシックプラン

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をして節約!
すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



節約

単身プランSea

定形の箱に入るお荷物だけ
ご自身で梱包をされる方
必要な荷物を
最短の所要日数でお届け



早い

単身プランAir

各サービスの詳細はウェブサイトにてご覧いただけます /

www.yamatoamerica.com/cs/



フリーダイヤル 5 4 5 6 5 8
1-866-5-KIKOKU

日本以外の世界中へのお引越・米国内のお引越も!

米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店

22930 Quicksilver Drive, Unit 115
Dulles VA, 20166

Phone: (703) 661-3501

Email: wasoperat@yamatoamerica.com

ここに掲載されている会社・団体を利用したことによって生じたいかなる損害に対しても、ワシントン日本語学校管理運営委員会は一切責任を負うものではありません。



在校生代表のお祝いの言葉

ご入学おめでとうございます。

みなさんは、これからワシントン日本語学校に通い始めます。きっとワクワクしていることでしょう。これから日本語学校では、楽しいことがいっぱいあります。たとえば、9月28日に行われる運動会です。私はタイヤ取りや綱引きが楽しかったです。クラスが力を合わせて勝つことができ勝ったときにはすごく嬉しかったです。私は、4年生の時に初めて赤組で勝ったので、特別な一日になりました。

日本語学校では、日本語で話せる仲間ができます。日本語学校の友だちは現地校の友だちとは少し違います。2つ以上の言葉を話すと、その国の文化が身につくので、より仲良くなる気がします。しかも、高校生までずっと一緒にいられる友達がつくれます。

これから一緒に日本語学校に通って、たくさんの思い出をつくりましょう。

6年 C 組 岩城みら

本校の教育目標『国際感覚を身につけた人間性豊かな児童・生徒の育成』の達成に向けて、焦らず子どもたちのペースを大切にしながら、愛情をもって保育を進めていきたいと思っています。

教職員一同は、『良さを見つけて褒めて伸ばす』のスローガンのもと、子どもたち一人

一人が元気で楽しい学校生活を送れることをめざし、誠心誠意努力してまいります。保護者の皆様におかれましても、力強いお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



第2回校内研修会の開催 ～よりよい授業づくりのために～

本年度、第2回目の校内研修会を実施しました。今回の研修は、文部科学省が発表した令和6年度の全国学力学習状況調査の結果をもとに、日本の生徒たちの現状と課題について確認をした後、山内教頭を講師として、主体的で対話的で深い学びの視点からの授業改善のために、子どもたちの学びの意欲を引き出すための取り組みについて研修を行いました。

